



旧秀隣寺庭園

—高島郡朽木村岩瀬—

滋賀県造園技師 毛利 道大



はじめに

旧秀隣寺庭園(国指定名勝)は、JR湖西線安曇川駅より東北方向(安曇川上流)に約10kmほど行った朽木村岩瀬の興聖寺境内にあります。

また、この地は、若狭(現在福井県小浜市)から京都への最短路である若狭街道(別称朽木街道とも言われています。)の宿場として昔からひらけたところです。

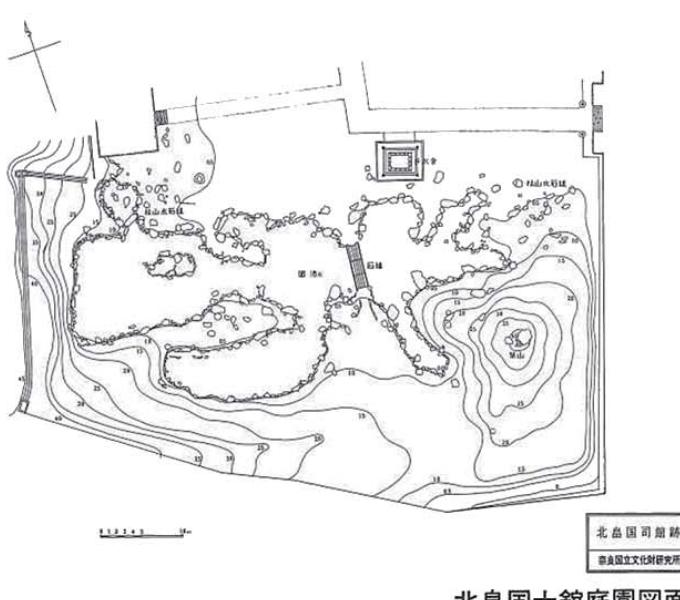
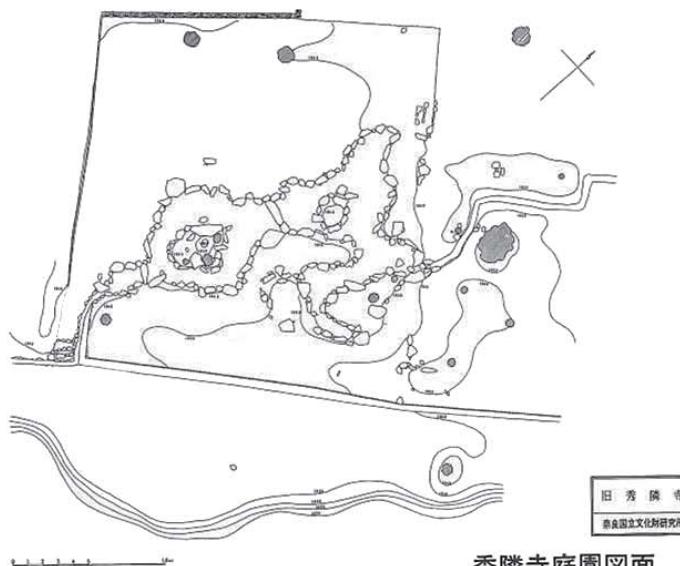


位置図

歴史

この庭園が造られたのは、室町後期にあたり戦国時代になります。

それは『近江国輿地志略』の卷之九十四（以後『輿地志略』といいます。）に、「後奈良院享禄元年將軍義晴、三好の亂を避け京師に出奔し朽木谷に來り朽木民部少輔植綱が許に住居し、五年を経て天文元年歸京あり。此寺は義晴公居住の宅也、・・・」と記載されていることから、享禄元年（1528）室町幕府の第12代將軍だった足利義晴が、内乱のつづく京都から、朽木庄の領主であった朽木植綱をたよって、3年ほど滞在しています。その時、朽木氏が義晴の居館及び庭園を造ったといわれ



ていることからです。

作庭者について『輿地志略』には、「假山は義晴の自ら築くなりといふ。」と記載されており、義晴自身が指揮をとって造ったということですが、供をしていた管領の細川高国が、義晴好みにこたえて作庭したものと思います。

それは、高国が造ったと云われている三重県多気郡美杉村の北畠国司館跡庭園とよく似ていることからです。

秀隣寺跡庭園と云われる原因是輿地志略に、「佐々木京極家の女、秀吉公の側室松丸殿の妹にして朽木氏に嫁し、卒後周林院と諡し當寺に葬る。寺又周林院と號す。」と記載されていますから、慶長6年（1601）朽木宣綱の妻の周林院を弔うため館を寺に改め、その寺の名前を秀隣寺（周林院）としたからです。

その後、享保14年（1729）に朽木氏の菩提寺である興聖寺が同村大字柏より移され、文政11年（1828）に本堂を焼失するがその後、再建され今日に至ります。

庭園

かつて、当庭園に臨んで建っていた建物の位置および形状については、分かっていませんが、北側の休憩所部分から見る庭園及び背景の巨椋栖山の姿が一番よいように思われることから、その部分が將軍の座所跡ではないかと言われています。

当庭園は池泉庭園です。その汀線は出入りが多く複雑な形状で、大石小石をバランスよく組んだ石組みとなっています。

なお、この池泉へと運ばれる谷水は、庫裡側の小彦渓谷から幅50cmの吸水溝を使い池泉へとはい



汀線



中島



吸水溝



中島



鼓滝



石橋

その水量は多く、池泉でありながら流れの庭とも言われている由縁だと思います。また、清流音をもって池泉の入り口部分の石組を鼓滝と呼ばれているのも納得するところです。

池のなかには水分石と中島・石橋が2つずつ配置されています。石橋は薄手の自然石をつかい、低く架けている。これらの手法は京都東山文化のながれを受け、まことに洗練されています。

その後方部分は高麗芝を使って、少し高い築山としています。なお、東側に枯滝石組を作り、景石を置く。また、背景の安曇川、巨椋栖山も庭園の構図のひとつになっていると思います。

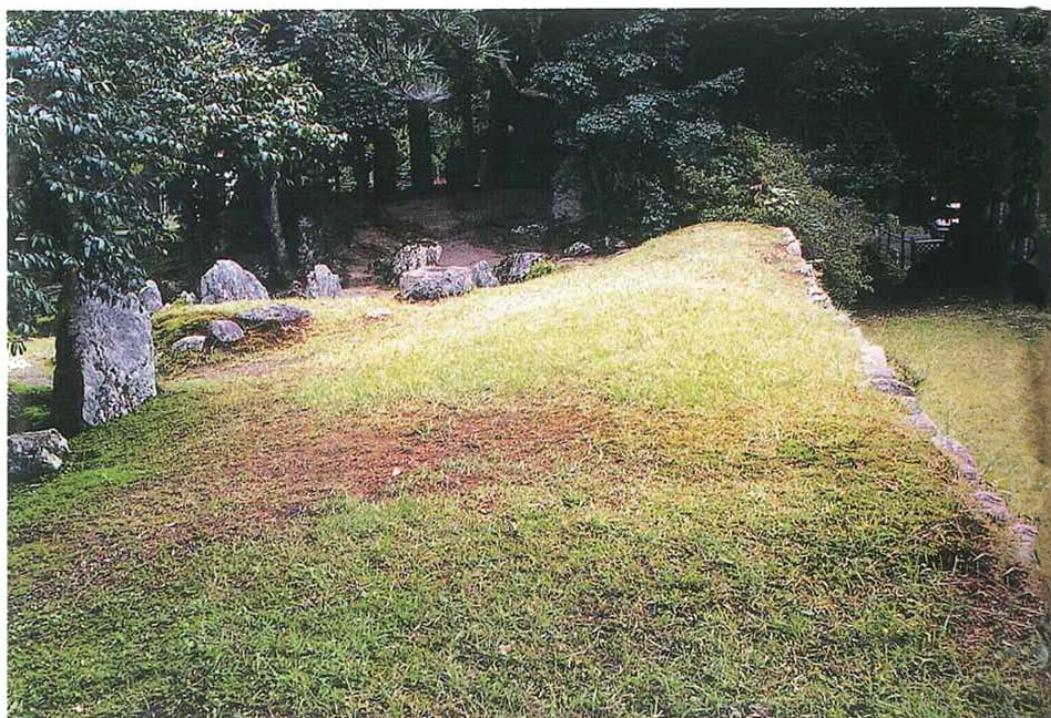
この庭園を構成している石は安曇川流域やその付近から産出した石を利用しています。なお、東側の石橋は楠の化石といわれています。植栽については、ツバキ、ヒサカキ、カ

エデ、サツキ、
ツツジ、オカメ
ザサ等見ること
ができます。

また、高麗芝
は日本で一番最
初に使われたと
いうことです。

この庭園の面
積は、縦約20m、
横 約30m で約
600m²と、將軍の
館庭園としては
余り大きくな
いが、力強さと巧
みとがうまく整
合し優れた造形

美をかもしだした庭園です。なお、義晴がこ
の庭を見るだけでなく曲水の宴、お茶の宴と



高麗芝

いろいろ利用しただろうことがうかがえます。

その他

同時期の庭園としては、福井市足羽町の一
条 谷朝倉館跡庭園群があり、近年の調査及
び整備が進められて戦国時代の庭園の状況が
よく分かるようになっています。又、県内では、
蒲生郡安土町の佐々木六角氏の居城であ
った観音寺城跡庭園群が昭和44～45年度に
調査されているとのことです、一般的にあ
まり知られていません。

なお、この2か所とも義晴が身を寄せてい
ます。

おわりに

館の発掘調査が行われ、位置及び形状が明
確になることを希望します。



北側の石積み



枯滝石組

滋賀文化財教室シリーズ No.178号

発行年月日 1998年9月21日

編集・発行 財団法人 滋賀県文化財保護協会

〒520-2122 大津市瀬田南大萱町1732-2

TEL(077)548-9780 FAX(077)543-1525